



# CASE STUDY (優良事例紹介)

## MOSSビル 様

(住所:岩手県盛岡市大通2丁目8-14)

### 【企業概要】

MOSS (モス) ビルは、岩手県盛岡市大通にある2006年開業の複合商業施設 (地上5階)。「Morioka Odori Shopping & Screen」の頭文字から命名され、1階の食品スーパー、上層階の「フォーラム盛岡 (映画館)」、書店、スポーツ用品、ホビーショップ (駿河屋) などが入居する大通り商店街のランドマークです。

### 【事例】テナント毎のごみ排出を明確化

MOSSビル様では、テナントに入居する事業者が排出するごみを明確に分別しています。排出量の多い一般廃棄物はテナント毎に保管ボックスを用意、排出量の少ない産業廃棄物は袋に排出するテナント名を明示してもらうことにより、どのテナントから出たごみなのが明確に分かるようになっていきます。



一般廃棄物一時保管場所



産業廃棄物一時保管場所



委託している収集運搬事業者の方で、テナント毎に排出したごみを計量しており、各テナントに収集運搬料が請求される仕組みになっています。そのため、各テナントの排出実績が明確に把握できる体制となっています。

### POINT

**テナントごとにごみの排出を明確化 (見える化) することは、商業施設やオフィスビルにおいて環境課題への対応とコスト削減の両立に大きなメリットをもたらします。**

(具体例)

#### 【処理費用の適正化】

テナントごとの正確なごみ排出量を把握することで、過剰な回収コストを見直し、適正な料金設定が可能になる。

#### 【テナントの責任の明確化】

ごみの発生源が明らかになるため、不法投棄や不適正排出を防ぎ、責任の所在を明確にできる。

#### 【分別指導の強化】

どのテナントが適切に分別できていないか明確になるため、個別具体的な指導が可能となり、共用部のごみ置き場の衛生面が向上する。